

研究所だより

第425号
2021年 2月18日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“ 春よ来い 早く来い 歩きはじめた みいちゃんが
赤い鼻緒の じょじょはいて おんもへ出たいと 待っている ”
『春よ来い』 童謡 大正時代後期



梅の花も咲きほころび、木々では小鳥がさえずり、少しずつ春を感じさせてくれるようになりました。最近では、ワクチンに関するニュースが聞かれるようになってきていますが、それで終息に向かってくれたらと期待します。これまでの努力が台無しにならないよう、気を緩めないで過ごしましょう。

学校を予防的に見る（特別編）

（教育ジャーナル2020年度 Vol. 6）から
村上仁志 教諭（大阪市立みどり小学校）

これまでを振り返りこれからに生かす

いよいよ年度末。子どもたちも、先生方も自身も、様々な形で、1年間を振り返り、できたことやできなかったことを総括し、今後に生かそうとされるものと思います。そんな時期に大切なことを紹介します。

ポジティブなことを残す

新たに、キャリアパスポートの記録が加わります。子どもたち自身が記録するキャリアパスポートは、小学校1年生から高校3年生までの12年間引き継ぎ、いつでも読むことができる資料になります。記録する際に教師には、これまでの文集などの確認と同様の配慮が求められることとなります。

子どもたちが文集やキャリアパスポート作文をするときには、頑張ったことや楽しかったことを書くように指導をします。ポジティブなことを書いておくと、時がたってその文を読んだときに、ポジティブな気持ちになったときの状況、言動、感情に子ども自身が気づきます。逆に、ネガティブなことが書かれていると、読むたびにネガティブな気持ちが込み上げてしまいます。ですから、文集やキャリアパスポートに載せる文章は、ポジティブなものにするように指導していくことが大切です。

このように、先を見据え、将来によりよい形とするための指導を予防的指導といいます。

ポジティブなことを書き記す



ネガティブな感情は放置しない

ポジティブなことを書くように予防的な指導をしたにもかかわらず、ネガティブな内容を記述したとすれば、それは、その子どもにとってどうしても忘れられないネガティブな感情です。そうした感情については、放置せず、すぐに話をしっかり聞き、先ず理解を示します。また、いじめなど対応が必要なことがある場合には必ず解決します。

そうした対応と平行して、文集やキャリアパスポートに書き残す文章については、「読むたびに楽しかった気持ちやうれしかった気持ちを思い出すことができ、力が湧いてくるポジティブなことを今回は書こう」と子どもを導いていきます。文章に出てくる交友関係や友達についての記述も注意深く確認します。「まあ、いいか」という教師の怠りとミスは、ほかの子どもが目にしたときや書いた子ども自身が成長したときの後悔となります。

今は届かない理想を目標とする

自分自身の今後のことを考えるとき、大切なのは、自分になりたい教師像を目標として設定することです。今の自分ではおよびもつかない理想の教師像を目標に設定し、それに向けて取り組むことが肝要です。難しそうに思われるかもしれませんが、皆さんが日ごろ、子どもたちに指導していることそのものです。

例えば、50m走の指導でゴールラインをめざして走らせると、ゴールにたどり着く前にスピードが落ちてしまうことがあります。ですから、ゴールラインの10～20m先にコーンを置き、「あのコーンまで全速で走りきりなさい」と指導すれば、50m地点まで全力で走り抜き、記録が最高値を示します。このコーンのように目標を少し先に設定することが、大きな効果を生み出すのです。

改善のために記録する

うまくいったことと失敗したことについて、改善のための戒めを手帳に記録していきます。これは、臨床心理士が使うことのある短期療法のテクニックの応用です。

うまくいったことは続けます。そのためにうまくいったことを書き残します。失敗したと感じたことは、人間関係なども含めて記録し、更に改善方法も記載します。その改善方法がうまくいったら、それも記録します。自分の行動が改善されるまで繰り返し、記録することを続けます。

別の良い改善方法があれば、それも書き加えていきます。そうしてうまくいけばその行動を続けます。

こうした改善方法の記録を続け、時間をかけて蓄積していけば、自然と自分の改善行動のレパートリーとなり、困難に対応できる力に変わっていきます。

先生方が更に大きく成長されていくことを楽しみにしています。

理想の姿を目標とする



～あすなろネットワークの取組～

1月21日（木）第4回あすなろネットワークを開催しました。まず初めに、12月末までの欠席調査報告と2018年、2019年、2020年の欠席状況の同時期比較と3年間の推移も併せて報告しました。高知県の1000人あたりの長期欠席者数の割合は全国上位にあり、土佐清水市でも1000人あたりに換算すると全国の上位に入ります。経年比較から見えてくるものとして、「家族の形態ができていない」「学年が上がるとともに増えてきている（様々な課題が出てくる）」などが挙げられます。これからも一人ひとりを大切に見守り、支援し続けることが望まれます。

今年度の研修については、コロナ禍の影響で1回目の開催が遅くなりましたが、4回の開催を通して「どの会も大変勉強になった。」という声が多く聞かれました。開催時期につきましては、小中学校の年間行事予定を基に設定しましたが、各園、各学校の忙しい時期と重なってしまった会もありましたので、来年度は検討したいと思います。また、コロナ禍の現状から回数についても減らした方がいいのではないかという意見もいただきましたので、来年度は4回の開催で計画するようにします。

保・幼・小・中・高・行政がさらにつながり、清水で育つ子どもたちを見守るネットワークづくりが強化できるようにしていきたいと思ひます。

＝2020年度の取組＝

- ◎第1回 7月 2日(木)「組織づくり」 アイスブレイク あすなろネットワークの概要 年間計画
- ◎第2回 8月28日(金)『「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」及び「引き継ぎシート」の作成について』
講師：西部教育事務所指導主事 宮上 美智子先生
- ◎第3回11月24日(火)「学級で使える集団づくりについて～エンカウンターを中心に～」
講師：高知県スクールカウンセラー 小松 宏暢 先生
- ◎第4回 1月21日(木)「年間総括・来年度にむけて」



～感想から～

- ・一年間あすなろネットワークの研修に参加させていただき、活動や支援の色々な方法を教えていただき、大変勉強になりました。保育園・小学校・中学校との連携も何より大切で早目の対処が大事であることも分かり、皆で協力しながら、子どもたちが少しでも健やかに過ごせるようにがんばらないといけないことが分かりました。アイスブレイクゲームや講師の先生の貴重なお話を聞くことができ、ありがとうございました。一年間ありがとうございました。
- ・研修自体はとてもよかったと思ひます。ただ、ネットワークと名前がついているので、保小中高で何か情報交換やつながる具体的な内容があればよいかと思ひます。担当以外の先生も学べる内容をお願いします。回数は少なかったですが、今年度もよい内容でした。ありがとうございました。
- ・「引き継ぎシート」の作成やエンカウンターについての研修は、実際に話を聞いたり、実践したりして、すぐく分かりやすくてよかったです。普段、小学校や中学校の先生と一緒に研修を受けることが少ないので色々な話を聞けてよかったです。

＝第2回学力向上検討委員会＝

2月4日（木）に第2回学力向上検討委員会を開催し、高知県学力定着状況調査における土佐清水市全体の結果（自校採点より）について話し合いが行われました。

小学校の国語、算数、理科については、4年生・5年生共に全国平均を上回りましたが、課題が見られる学校もありました。中学1年生は、5教科全てで全国平均を下回るという結果になりました。中学2年生の国語、数学は、全国平均と同等か上回りましたが、社会、理科、英語は全国平均を下回りました。特に1年生の英語に課題が見られました。全国平均を下回りましたが、全国との差は縮まってきており、取組の成果が表れてきています。

「令和2年度高知県学力定着状況調査への取組」について事前に調査を行い、各校の事前事後の取組について共有しました（下記）。

令和2年度高知県学力定着状況調査への取組

- ①調査実施までに
 - ・「1. 授業改善」「3. 調査問題の出題範囲の確実な履修」「7. 直前指導」については、7校が実施していた。
 - ・「4. 課題克服～ダントツシート～」は、授業での活用・家庭学習としての活用が6校、放課後等の補習学習での活用が5校でした。評価問題として活用した学校は3校でした。
 - ・直前指導は7校でした。
- ②調査実施後
 - ・「6. 自校採点」「7. 校内研修」「8. 授業改善」「9. 補充指導」と、全ての項目を7校が実施している（予定も含む）。
 - * 補充指導について（省略）

今後の学力向上に向けた取組として

- ①授業を通して「読む力（読解力）」「スピード感」を養う指導を行う。
 - ②順序立てて理論的に考えることができる。自分自身の考え方を持たせ表現できる力を養う指導を行う。
- などが小中共通課題として提起されました。

また、西部教育事務所発行（下記）の「授業アイデア例」を今後の授業実践等で活用して頂ければ幸いです。

